

## 単元名 曲の形式を生かして歌おう

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 歌詞と旋律のまとまり、二部形式との関係を理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うための発声、発音、身体を使い方などの技能を身に付けることができる。  
 (2) 曲想と形式や歌詞との関わりを理解し、音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などの技能を得たり生かしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫できる。  
 (3) 歌唱表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

11260203\_001

【教材名】 浜辺の歌 早春賦 (上 P. 14～P. 19)

【準備等】 範唱音源

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「浜辺の歌」の歌詞の背景や旋律のまとまり、形式について理解し、強弱の設定を生かして表現する。  <b>★</b>曲の形式を生かす工夫をしながら歌おう。            ○歌詞が表す情景を想像し、拍子や速度が生み出す雰囲気を感じ取って表現する。</p> <p>○歌詞と旋律の関係を4小節ごとで捉え、二部形式を意識しながら表現する。</p> <p>○強弱の設定を生かしながら表現を工夫する。</p> <p>3 言葉と旋律のかかわりを大切にして、「早春賦」を歌唱する。  <b>★</b>曲の形式を生かして「早春賦」を歌おう。            ○「早春賦」の形式を理解する。            ○前時までの学習を生かして表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の背景を知り、情景を想像したり、現代的な表現に書き直させたりする。</li> <li>・打ち寄せる波の情景を表すような伴奏にも注目させる。</li> <li>・冒頭4小節のまとまりを確認し、楽典「形式」P. 84を参考にしながら、二部形式による楽節のまとまりを理解し、ワークシートに整理させる。</li> <li>・aとa'の旋律の違いやbの旋律の特徴などを感じ取らせる。</li> <li>【評】曲の形式を生かして歌う活動を通して、「技能」を評価する。</li> <li>・小楽節ごとの強弱の設定を確認し、二部形式を意識しながら歌唱させる。</li> <li>・鼻濁音の発音や音域に応じた音色の工夫を考え、グループ発表を行わせる。</li> <li>【評】音楽の構造を生かして表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・「浜辺の歌」と比較しながら、曲の構成を理解させる。</li> <li>・表現を工夫する内容、発音や発声についての留意点などをワークシートや楽譜に整理し、表現する。</li> <li>【評】曲にふさわしい歌唱表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】活動に主体的・協働的に取り組む様子を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

## 【 備 考 】

「浜辺の歌」を主教材とし、強弱や音域に応じた発声と声の音色、旋律のまとまりや反復、拍子や強弱の設定、二部形式による楽曲全体の構成などについて学んでいく。「早春賦」では、二部形式の共通性を生かしながら表現を工夫していく。

【共通事項】 リズム・旋律・強弱・形式・構成